

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みをととして、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク(近畿共通) 《災害支援・防災》

理事長 渥美 公秀



私たちは、阪神・淡路大震災をきっかけに兵庫県西宮市役所内で発足したNPOです。「思いをつなぎ、寄り添いながら、安心して暮らせる災害に強いまちづくり」をめざし、災害時の被災地支援と日頃の防災啓発活動に取り組んでいます。

被災地支援においては、2024年1月に発生した能登半島地震で被災した石川県七尾市や輪島市を中心に活動。特に七尾市では、関西学院大学と連携し、仮設住宅や学校などで交流会や子どもの遊び場づくりの支援を継続しています。また、7月に発生した令和8年熊本地震では、発災直後現地連携団体からの要請に基づき、支援対応を行いました。

防災啓発活動では、予期せぬ災害に備えるために、大学生の協力を得て、子ども対象の「防災クラブ」のほか、市民を対象にした「防災クイズ大会」や「防災まち歩き」など、楽しみながら学べるプログラムを展開しています。こうした地道な活動を通じて、大人も子どもも防災への関心を高め、「みんなが助かる社会」の実現をめざしています。



NPO法人 関西NGO協議会(近畿共通) 《国際協力》

代表理事 三輪 敦子



関西NGO協議会は、平和で持続可能な社会に向けて、多くのNGOや市民と一緒に協力しながら活動を創り出していくネットワークNGOです。

国際的な課題や人権、環境の課題に取り組む関西を拠点とした38団体が加盟し、NGOへの助成金支給や相談対応によるNGO支援、政府等への政策提言、市民への国際協力の普及啓発を行っています。

具体的には、ODA(政府開発援助)の透明性・説明責任・国際協力の質の向上に向けた提言やNGOと外務省との連携を深めるための協議会の運営も担当しています。さらには国際協力に関心を持つ次世代を対象とした研修合宿やイベント「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」を運営し、11年間で延べ3万4000人が参加するイベントになりました。



国際協力を軸に関心と行動をつなぐ団体として、今後も様々な企画を進めていきたいと思っています。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。